

「2026年の新年を迎えて」



日本複合・防音床材工業会会長
朝日ウッドテック株式会社
常務執行役員商品開発本部長 伊藤真浩



新年あけましておめでとうございます。

日頃より工業会の活動に対し温かいご支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。本年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

2025年の住宅・建築業界は、「省エネ基準適合義務化」と「4号特例の縮小」という大きな法改正による影響等で、依然として先行きの読みづらい状況が続きました。住宅着工数の低迷、原材料価格やエネルギー価格の高止まり、住宅価格・金利の上昇、人手不足など、事業環境は決して楽観できるものではありませんでした。しかし、こうした環境下にあっても、会員各社の皆様が品質向上や技術開発に粘り強く取り組み、業界を支えていただいたことに深く敬意を表するとともに、改めて感謝申し上げます。

この一年、工業会としても「技術の標準化」「知見の共有」「情報発信力の強化」を軸に、各委員会活動を積極的に進めてまいりました。

まず技術委員会では、複合フローリングに関する床暖房試験規格の運用改善に取り組むとともに、防音直貼りフローリングの新たな試験規格検討を開始し、より合理的で信頼性の高い基準づくりに向けて議論を深めました。こうした規格の整備は、会員企業が自社製品の性能を正確に示すための土台となるものであり、業界全体の品質確保と市場の透明性向上に寄与する重要な取り組みです。関係委員会とも連携を図りながら、引き続き検討を進めてまいります。

資材流通委員会では、会員への情報提供および知見向上を目的に、年2回の見学会を実施しました。7月には、大阪府と（公財）大阪産業局が連携して運営する大阪府内ものづくり中小企業の総合支援拠点「MOBIOものづくりビジネスセンター大阪」を、10月

には国土交通省 関東地方整備局の「建設技術展示館」を見学しました。いずれの見学会においても、専門の説明員による丁寧な案内を受けることで、参加会員の理解が深まり、実務に直結する有意義な機会となりました。2026年度においても、引き続き年2回の見学会開催を計画し、会員の知見向上と交流促進に取り組んでまいります。

広報委員会では、JAFMA ホームページ「フローリング・ナビ」において、コンテンツの拡充と更新を進めました。特にアクセス数が増加している「ペットフローリング」関連情報の見直しや、既存コンテンツの刷新を実施し、生活者や設計者に向けた情報提供の質を高めることができました。今後も、社会から求められる正確でわかりやすい情報発信に努めてまいります。

こうした委員会活動の積み重ねは、フローリング業界の信頼性向上と市場価値の創出につながるものであり、会員の皆様のご協力なくして成し得ません。改めて深く感謝申し上げます。

2026年は、環境配慮や住宅の質向上、住まい方の多様化など、私たちの業界に求められる役割がさらに拡大する一年となるでしょう。複合・防音フローリングは、住環境の安全性と快適性を支える基盤であり、社会に果たす使命はますます大きくなっています。JAFMAは今後も、産・官・学の連携を深めながら、技術革新と健全な市場形成に向けた活動を推進してまいります。

最後になりますが、会員企業の皆様のますますのご発展とご健勝を心より祈念申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。